

# 令和5年度(第3回)県政モニターアンケート集計結果

## 〈生涯学習について〉

### 【調査の目的】

近年、少子高齢化による労働力人口の減少、科学技術の高度化や経済のグローバル化など、社会や経済が大きく変化し、私たちがいきいきとした生活を営むためには、これまでの趣味・教養や知識の習得だけでなく、職業上の能力を経済的に高めていくことや地域社会の課題に地域で対応できる能力を身につける必要があります。

このように、社会の変化にともなって生涯学習に求められるものも変わっていく中、更に生涯学習を推進していくための施策検討のため、生涯学習に関する皆さんの現状やご意見をお伺いし、参考とさせていただきます。

(人づくり・県民生活部 私学振興・青少年育成局 政策課)

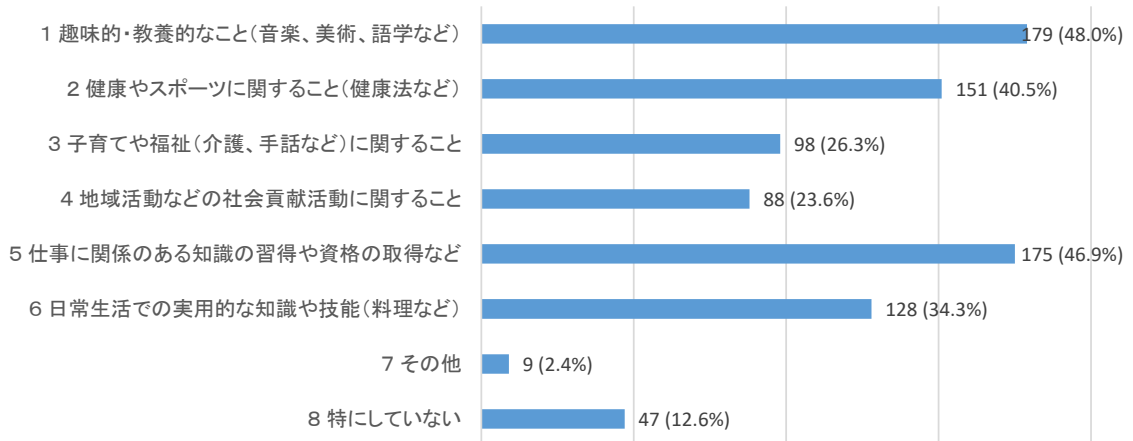
### ※生涯学習とは

人々が自発的意思に基づいて、「自己の充実」、「生活の向上」、「職業能力の向上」のために、自ら学ぶ内容を選び取り、充実した人生を送ることを目指して生涯にわたって行う学習のことです。

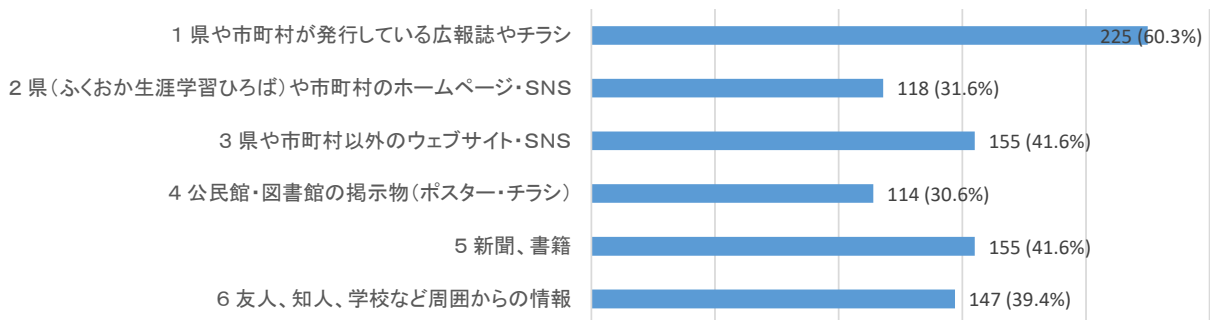
※1 回答者数:373人

※2 問1～問6まで複数回答可

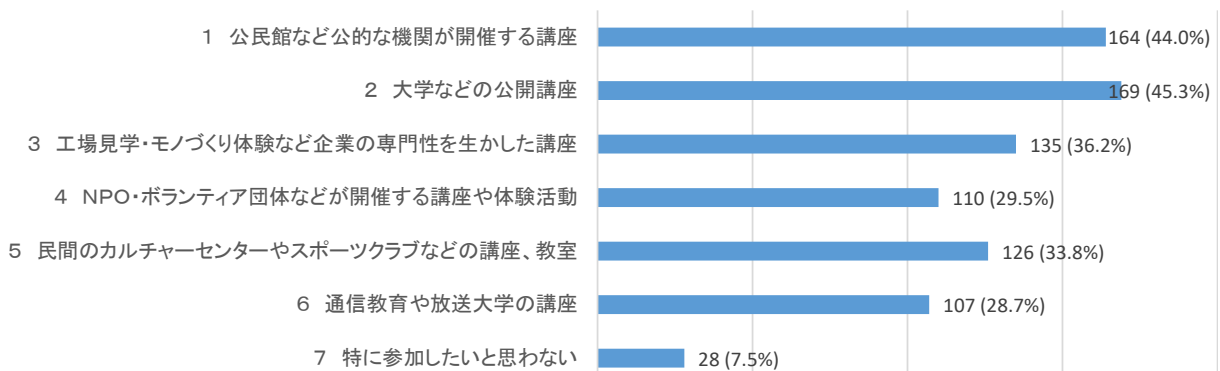
問1 この1年間に次のような学習をしたことがありますか。 回答件数 875



問2 生涯学習を行う場合、どのように情報を入手していますか。 回答件数 914



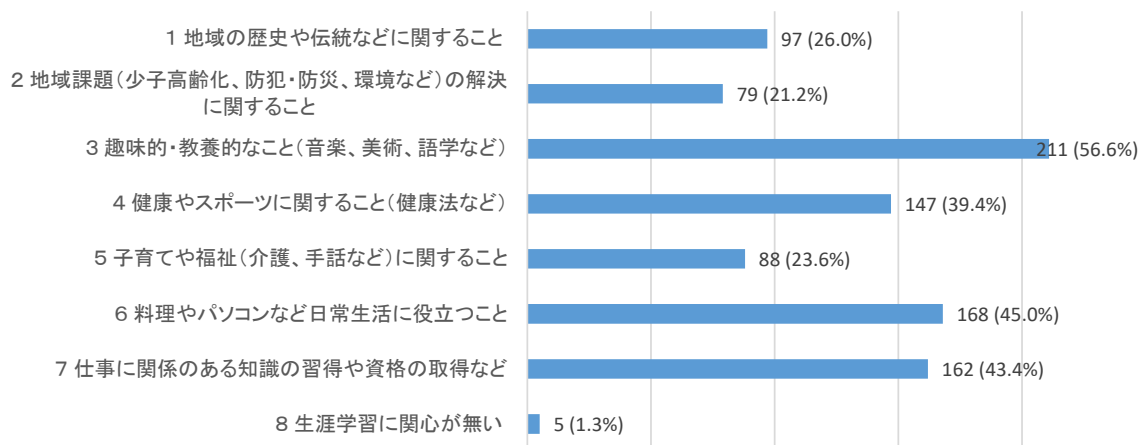
問3 今後学習を行う場合、どのような講座に参加したいと思いますか。 回答件数 839



問4 今後学習を行う場合、どのようなことを学びたいと思いますか。

回答件数

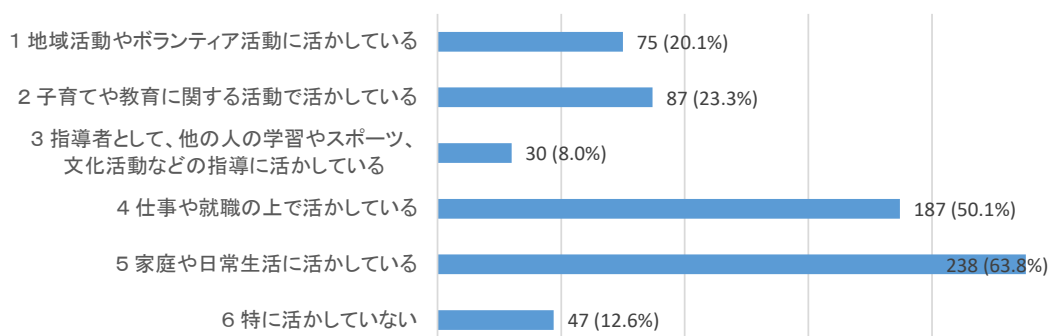
957



問5 学習によって身につけた知識・技術や資格をどのように活かしていますか。

回答件数

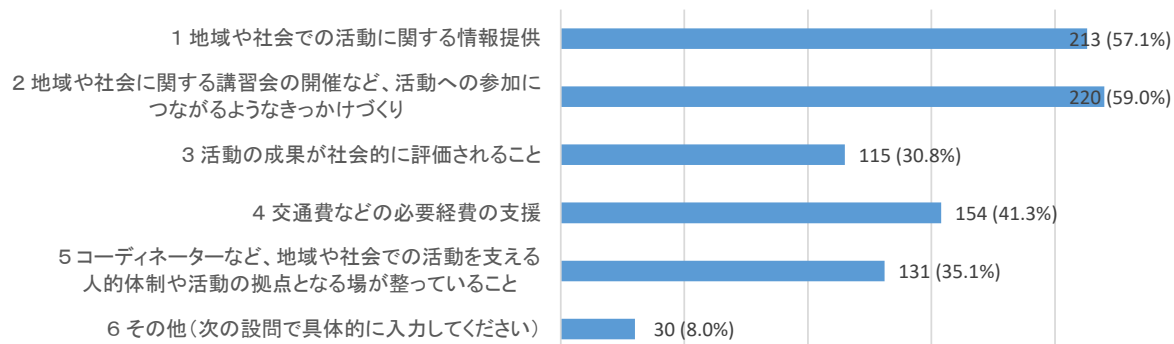
664



問6 多くの人が地域や社会への活動に参加するようになるためにはどのようなことが必要だと思いますか。

回答件数

863



【その他】※抜粋

- ・参加特典や報酬を設ける
- ・インターネットやSNSの活用
- ・参加者の数や年齢層を広げるようなコンテンツの工夫
- ・託児等の参加しやすい環境づくり
- ・初めてでも参加しやすいコミュニティの雰囲気づくり
- ・幼少期からの教育
- ・時間、精神的な余裕

問7 生涯学習について、これまでの設問以外に意見がありますか。  
ある場合は、その内容を具体的に入力してください。※抜粋

回答件数 135  
回答率 36.2%

### ○地域貢献・社会貢献活動

- ・人が喜びを感じるのには評価された時と思います。地域貢献や勉強なども同様に褒める工夫は必要だと思います。(60代/男性)
- ・高齢化に伴う時間を持った人々が生き甲斐と社会貢献を兼ねた生涯学習が出来ると良いと思います。(60代/男性)

### ○地域社会との関わり方

- ・地域活動の中に地域における自治会活動があります。当エリアでは、老人が多くなり、自治活動を運営する役職の方が少なくなり、それに併行し行事そのものの参加も減っています。これは、本邦の少子高齢化もありますが、同時に若い人の地方離れ、加えて家族意識も薄れてこの様な結果が生まれてくると思います。子や孫が居付く、素晴らしい環境作りから進めないと、この傾向はますます強くなると考えます。生涯学習の表題とは違うと考えますが、地域の活性化が進めば色々な場面が変わってくると考えます。(70歳以上/男性)
- ・現在の住居に住み始めて3年ですが、コロナ禍もあってか地域の活動などがいまいち把握できていない状況です。回覧板でお知らせはありますが、住宅街で子供もいる中、地域の行事に参加しますが馴染めていないと感じます。生涯学習を通じて、地域の方と親交を深めることで社会で活動するきっかけにしたいです。(30代/女性)
- ・我が家は、80代の主人の両親と同居しています。社会との接点は、私達家族を通してのみで、自らディサービスに行ったり趣味や地域活動に参加することは全くない状態です。敬老会さえ2人とも行きたくないといひます。本人達がそういう場所を好まないというものがあると思ひますが同居している家族としては、人との関わりがぼけ防止にもつながるし刺激を受けるのではと思ひ、何が良い方法はないかなと思ひています。その反面80代になるとなかなか外に行かなくなるだけでなく、身体的にも行けなくなるのかなとも感じています。(50代/女性)
- ・中年以降の地域/社会活動への参加は、これまで通りでいいのかとも思ひますが、若い方の参加は現状では難しいのだと思ひます。学校という枠から出て社会へ出た若者は、放り出されていると思ひます。実家暮らしをしていれば、自分が興味のあること以外のことでもやらなくてはいけないこともあるでしょう。しかし、ひとりで生活をし、職場と家の往復。通勤途中もスマホを見ながら。食事さえも『おひとりさま』という言葉を巧みに使い、気楽な一人がいいという『個』の時代になっていることが問題です。地域社会活動への参加の意味がないと思ひていることでしょう。自分がやらなくてもという気持ちも多いと思ひます。それは、地域で子どもを育ててこなかったということが大きく影響していると思ひます。地域社会活動へ参加しない若者を作ってしまった原因を考え、そこを改善することが必要だと思ひます。(50代/女性)
- ・特別な肩書を持っていなくても誰もが支える、または支えられる側になるという意識の改革が必要だと思ひます。具体的には自分たちが暮らす地域の課題を自分事として受け止め行政の力や民間の力を借りなくても最適解を見つけて具体的に行動がとれるような日頃のコミュニケーションがいざというときのとっさの判断において明暗を分けるような気がします。(50代/女性)
- ・常に新しい知識に触れることで人生が豊かになると思ひます。社会は変革して立ち止まてはいられない。一番大切なのは人との交流で、情報で分かっていた気になっていても社会の一員に及ばないこともあるかと。(70歳以上/女性)

### ○生涯学習に取り組める環境づくり

- ・いろいろな勉強をしてみたい気持ちはありますが、講座がほぼ参加出来ない日時のためあきらめています。もう少し社会人でも参加できるような仕組み作りをしていただければ嬉しいです。特に30、40代の独身が楽しく参加出来、交流が生まれるようなものと嬉しく思ひます。(40代/女性)
- ・自分のための学習では、参加に時間や場所の制約があり参加出来ないこともある。柔軟に参加出来るような内容があればよい。地域や社会への活動は、やりたいと思うが、そのきっかけ作りが出来ないので、顔合わせなどスムーズに入れるような取り組みがあれば良いのでは。(60代/男性)
- ・日中仕事していると平日の昼間に行われているカルチャー教室やセミナーなど参加することができません。平日夜間、土日にも多く開催して欲しい。あと官公庁としては難しいかもしれないが、大人の自習室(朝早く～夜遅くまで)を1市町村に1つ作ってくれるととても有難いです。(20代/男性)
- ・公民館などで子育てに関する講座をよく見かけますが、ほとんどが平日日中の開催のため、フルタイムで働いていると参加出来ません。今は働きながら子どもを育てている人も多いと思ひますので、土日にも開催して頂けると嬉しいです。(40代/女性)
- ・会社の有給制度として、地域活動や社会貢献の日利用できる有給制度などがもっと整備されると良いかと思ひます。子供がいる家庭であれば、親子の時間も取れるし、一石二鳥かと思ひます。(20代/男性)

・仕事をしている方もなかなか難しいとは思いますが、こういう方たちは有給休暇の取得で時間が作れる可能性があります。しかし小さな子供がいる方や介護を行っている方等には休みというものがなく、時間を作ろうにも予定どおりに動けないのが現実です。

そこで学習時間は保育や介護支援をしてもらう、リモートでの参加が可能、リモート中に中断しないといけないような状況も多々あるはずなので、後日動画配信等で隙間時間で学習ができる等、少しでも集中して学習できる環境を整えてもらえるかと参加してみようかなと思えるかもしれません。

また、配偶者等に学習がただの趣味・遊びだからと協力してもらうことが難しい家庭もあるかもしれません。そういう理解不足によって学習機会が奪われてしまうことが無いよう、もっと周知してもらうことも大切かなと思います。(40代/女性)

・学びたいものがあったても、遠かったり、子供がまだ小さくて通えないことの方が多い。オンライン講座を積極的に取り入れて欲しい。(40代/女性)

・子育て中ですと参加したくてもできない場合があります残念です。可能であれば託児サービスなど充実させて欲しいです。(40代/女性)

・学習したくても、フルで働いて、子供がいると時間が許さない事が多いと思う。子供と一緒に参加できるような大人向けなものがあると嬉しい。(30代/女性)

・市が募集する生涯学習などに以前は参加するのが好きだったのですが、在宅勤務になってから車も持っていないのもあって、あまり参加しなくなってしまいました。やはり、定期券があって、それを活用しようという気持ちがあるのだと感じました。(30代/女性)

・自分の関心がある活動も、交通費の自己負担がネックになる場合があります、このあたりのすり合わせが課題かなと感じている。(60代/女性)

・みやま市は交通の便が悪くマイカーがなければ、病院や学習に参加したくても高齢者の場合交通機関がないので、みんな参加が出来るように市のバスを送迎バスとして使って欲しいと思います。(60代/女性)

・生涯学習は、現状の生活水準を維持していく上で必要不可欠になってくると思われる。現状は退職後、年金などで余裕ある世代に限られ、現役世代も日々の生活に余裕がなければ、なかなか参加できないので、時間的にも金銭的にも課題があると思われる。(50代/男性)

・現在私は通信教育で大学である資格の取得に向けて学習をしています。子育て中であり、正社員として働いていますが、通信教育であっても、大学に通う為には職場の理解が必要で、はじめは現在の職種に関連のある学習でないと認められないといわれました。仕事を休むわけでもなく、自分のももとの公休や有休を取得し通信大学で学習する場合であってもです。最後は仕事を休んで大学に行っているわけではなく、プライベートの時間であり職場が口出しはできないとなり、現在通信大学で学習しているわけですが、私のように職場の理解がないという環境の方は多いと思います。まずは、生涯学習がその人の可能性を高め、生き生きと生きていくために大切なことであり、社会として当たり前についていけるよう考えを広めていく事が必要だと思います。そして公民館で行われている活動は平日の日中等が多く、どうしても参加できるのは退職後の高齢者や無職の方に限られると思います。幅広い方々が参加できるように時間を広く設ける等していただきたいと思います。(40代/女性)

・若い方がもっと参加できる環境作りを。高齢の元気な方には講習会参加者のお子さんを見守る。継続することにより社会とのつながりが子どもらお年寄りまでできてくるのでは。(50代/女性)

・高齢者を子育て支援に活用するシステムがあると良いと思う。  
現在、市主催のファミリーサポート提供会員講座を受講中。子育て中に受けた支援にお返ししたい思いです。(60代/女性)

・久留米市北野町のセンターはとても素晴らしくて、我が町大牟田市にも欲しいと熱望しています。理由はまさに生涯学習の拠点です。図書、体操、料理、運動、コミュニティーフロアが自由に利用出来る所が魅力です。ジム機器もあって体力維持はもとより、足の弱った方へはプールの歩行訓練も可能で健康サポートが素晴らしいです。曜日によって多種にわたる講座もあり、参加もしやすく、新しい自分発見や何かを始めるきっかけ作りの後押しをしています。調理ブースも体操ブースもガラス張りなので、参加しない人でも見えることによって興味を持ち始めたりします。生涯学習の充実、拠点とそのきっかけ作りが必要だと思います。(50代/女性)

## ○生涯学習機会に関する要望

・定年退職したような人にさまざまな学びの場を設けてあげると行き場としていいのではないかな？地域の小学校のようところで足を運びやすいようにしたらどうか？子どもたちと関わり合うようになれば優しい社会になるのではないのでしょうか？(40代/女性)

・年をとるにしたがって 遠くに行くことや、知らない人の中に入ることに躊躇しがちです。自分の住んでいる地域にある公民館などなら行きやすいし、知人に声をかけて一緒に参加することも可能です。校区ごとの生涯学習の機会を望みます。(60代/女性)

・多くの人々は高齢になっても学びたいと思っているのではないのでしょうか。キッカケがあれば(参加しやすい環境があれば)参加しやすいと思います。(どうしても、受け身になりがちだと思いますので)。最初は、大きな集まりで(垣根が低いと思える)あれば、あまり人目を気にせずふらっと参加しやすいし、それを見て良い感触を得れば、次回からは小さな集まりになったとしても、(人目があったても)参加しようと思うのではと思います。(60代/男性)

・シニアで生き甲斐につながる仕事の生涯学習の機会を提供してほしい。(70歳以上/女性)

- ・老人だけ親子だけなどが多く、ミドル世代の生涯学習も増やして欲しい。(40代/女性)
- ・高齢社会のため生涯学習は重要な課題と思います。私は生涯学習の場に注目しました。高齢者が増加している現状に比べ学習、運動、交流の場が少ないと感じます。各小学校区にある公民館だけでは足りないと思われるので、今後は多世代で集える開放的で広い施設を増やして参加が増えることで生涯学習としての成果を期待出来るのではないかと考えます。(60代/男性)
- ・年配者のコミュニティと若者のコミュニティが交わって関わる事ができるものがあると思う。金八先生6で学校内に福祉のコミュニティがあるのを見ていいなあと思ったから。空き教室を利用できるのもいいと思う。(50代/女性)
- ・参加したい内容があったとしても、年齢や性別で制限されている事が多く見受けられます。もし、その受講者が少ないのでなければ、将来を見据えて、年齢制限なしにしたり、多様性の社会を実現するためにも性別などで一括りにせずに多種多様な人たちが参加出来る生涯学習を実現して欲しいです。(40代/男性)
- ・退職してからは、趣味の卓球しか活動をしてない。社会と繋がりを続ける為にも何か学びたいと思うが、背中を押してくれるような情報やきっかけ、近くで参加できる場所が分からない。(60代/女性)
- ・地域の情報番組や、ラジオ、SMSなど、様々な媒体を使って幅広い年齢に学習機会を周知することが必要だと思います。(40代/女性)
- ・目的によって利用の仕方や内容がもう少し見えやすくなって欲しいです。(60代/女性)
- ・どこでどんなことを実施しているかとかの情報がもっとわかればいい。(20代/女性)
- ・生涯学習の相談にのってくれるところをもっと宣伝してほしい。(60代/男性)
- ・小中学校への宣伝活動、子供を巻き込んだ活動は有効な気がします。(30代/その他)
- ・地区によって実施の偏りが目立つ。(40代/男性)
- ・地方にその機会が少ない、もしくは交通の便がないため定期参加が難しい。(20代/女性)

## ○参加したい講座や希望する講座のあり方

- ・以下のようなテーマが興味を引きます。
  - ・学校教育では学ばない地域の歴史・伝統・風習
  - ・学校教育では簡単に流される日本の古代
  - ・学校教育では簡単に流される日本の近現代史
  - ・農業体験と食の大切さ
  - ・食と直結する健康、現代病
  - ・福岡県で行なっているもの作り
  - ・人材不足と余暇利用人材のマッチング
  - ・有効土地利用 (70歳以上/男性)
- ・生涯学習として手話講座を充実させてもらえたら嬉しいです。具体的には、手話を個人のレベルに応じて学べるように、初級、中級、上級クラスのように段階的に設置してもらい、出来れば、各クラスには実際に日本手話を母語とするろう者の方にも参加して頂きながら、手話での会話と同時にろう者の日常や文化などの話も聞けるような講座があったらいいなと思っています。2025年にはデフリンピックも開催されることで、是非ご検討いただければ嬉しいです。宜しくお願いします。(40代/女性)
- ・子どもから大人まで学べる金融教育に力を入れて欲しい(税金の仕組み、青色申告控除や確定申告の仕方、NISAなどの投資方法など)。(30代/女性)
- ・以前にFP3級を取得したが、その後法律が変化しているのにそれを学ぶ機会がないのが残念。生活の中でどう活かしていくか、法律が変わる前にした方が良さ、FPに関する情報を更新できる定期的講座を実施してほしいです(web講座も)。(50代/女性)
- ・お金の勉強(NISA、IDECO等)は是非必要と思います。そのためにパソコン、スマホも必要となります。(60代/女性)
- ・生涯学習という枠組みだと、リタイヤした方や専業主婦(主夫)が参加するものという雰囲気を感じます。学習という枠組みならば、子どもから対象にしていいと思っています。中でも「英語」は日本人がアレルギーに感じるほどの苦手意識があるものと思っています。これを県が主導して、週に複数回講座を設けるなどして対応してはいいかでしょうか。息子には英語を苦手に感じて欲しくないという思いから、バイリンガル系の幼稚園に通わせていますが学費がとても高いです。学費が理由で通園をあきらめたご家庭もたくさんいると思います。外国人の先生が外国語だけ話すような学習の枠組みを設け、「勉強と感じる前に、英語を身に着ける」という仕組みにしていきたい。(30代/男性)
- ・国際交流イベントがあったら参加してみたい。(20代/その他)

- ・生涯学習の中に、NPOなどでボランティアや人材を求めている活動のニーズを集めて講習会を企画して欲しい。机でだけではなく、ボランティアなど体験しながらの学びがあっても良いと思う。(60代/女性)
- ・北九州に住んでいますがもう少し高齢者対象の学びなおし講座等の企画が欲しい。(70歳以上/男性)
- ・高齢化社会であることから、身近にできる健康法や体操等を教えてくれる場所を増やしてもらいたいです。(50代/男性)
- ・年配者向けの学習を更に充実させて頂ければ幸いです。(70歳以上/女性)
- ・年寄りだから、IT系が苦手だと勝手に決めつけず、学べる、機会、施設等を増やして欲しい、年寄りでも生きることにより一生懸命な人は居る。(60代/男性)
- ・公民館のカルチャー講座は、若い人がほとんどいないので若者を取り込む工夫をもっとするべきだと思うし、親子参加できるものももっと増えようと思う。(60代/女性)
- ・皆さん既にお友達になっていて、入りづらい感じです。参加したこともあります、一人ぼっちで誰とも話す機会がなく直ぐに帰りました。(70歳以上/女性)
- ・出産前はスポーツ講座に参加していました。その時感じたのが、常連と言われる方が多かったこと。一部の方が利用している印象を受けました。50代の女性がほとんど。行政が支援しているものは、働いてる方も働いてない方も、年代も男女問わず、幅広く利用できるようなになればいいのになと感じました。(40代/女性)
- ・学習や活動をしてみたいと思っても、いきなり参加するのは不安があると思うため、説明会だけの参加も歓迎として、公民館や施設で説明会を広く開くと良いと思う。(10代/女性)
- ・気難しく考えなくていいように、気楽に参加できるよう、敷居を下げて欲しい。イメージだけでも。誰でも、いつでも参加しやすく。(20代/男性)
- ・費用が掛からない、教養UPの学習を希望。(70歳以上/男性)
- ・参加費が無料やワンコインだと気軽に参加したくなります。(20代/女性)
- ・なるべく費用の負担をかせずに実生活に役に立つものを学びたい。(50代/女性)
- ・学ぶことに時間を使うのであれば、仕事の事など収入に繋がるような事を学ぶ方がいい。(20代/男性)
- ・私は古賀市に住んでいるのですが、広報誌が充実しており習い事などもたくさん掲示してくれたり、イベントも掲示してくれているのでとても興味が湧きます。ただ、月謝なども表示していただくとありがたいと思います。また、無料体験などがあるというんな方が学習をするきっかけになるのではないかと思います。(30代/女性)
- ・家庭生活と並行して参加できるように、オンラインで参加[見るだけでなく学習したり共有したり協力したり働いたり指導したり]できるといいと思います。(60代/女性)
- ・インターネットのYoutube等の動画サイトを利用して有効な講座を受講できるようにしてほしい。(50代/男性)
- ・今の時代は、情報はすぐに手に入る。Youtubeはじめ、様々なSNSを活用すれば様々な技術を映像でみることができ。行政が講座を主催するならば、きっかけづくり、コミュニティづくりに特化したものがないと思います。(40代/男性)
- ・公が主催する活動や講座などに関しては、一般的に「真面目」なイメージを持たれるものが多いと思います。また「真面目」なイメージを持たせるような広報をしている場合が多い印象を受けます。「真面目」は悪いことではないのですが、もし若い人やより多くの参加者を募りたい場合は「おもしろそう」「楽しそう」「何かもらえる」等の要素が重要になってくるかと思っています。また情報発信媒体も広報誌やHPにとどまらず、X、Threads、Instagram、TikTok、note、Voicy、LINE、Facebook等々、様々なSNSを駆使する必要があると思います。今はカスタムメディアの時代です。何から情報を得ているかは人によって様々です。発信内容はコピーで構わないので様々な媒体のアカウントから発信すると効果的かと思っています。(30代/男性)
- ・正しい専門知識のある方による、しっかりとした講習等が必要だと感じます。(60代/男性)
- ・自分はよく趣味で学習しているが、自治体や民間が開催する講座などは講師の正しさが信用できなくて参加しづらいパターンが多々ある。例えば地域の人向けに歴史の教養講座を行うときは、地域の歴史に関する小説を書いている作家を呼ぶのではなく、地域の歴史を研究している大学教授や学芸員を呼ぶべきだ。専門的な教育を受けてない人たちは事実よりも面白さを優先する傾向にあるので、誤った歴史を広めてしまいかねないからだ。実際にあとから専門書や専門家が書いた記事を読むとぜんぜん違うことが書いてあったということも何度もあった。もちろん専門家の肩書きがついていればいいというものでもないし、面白さは大切だが、それを優先して地域の人に誤った歴史を教えるのは本末転倒だろう。これは一例にすぎず、専門家にも肩書きが無いような分野もあるので判断は簡単ではないだろうが、どうにかしてもうちょっと慎重に選んでほしい。(20代/男性)

## ○関係機関との連携

---

・リスキリングという言葉が流行っていますが、スキル習得などは、無論、個人の意志が尊重されるべきものだと考えます。それを前提として、自治体が学習環境を用意していくことについては賛成です。特に大学などの教育機関と連携した学術的な公開講座があればぜひ参加したいと思います。それが市民のスキルアップにつながり、さらに福岡県の発展につながるようなビジョンを描いて計画してみてもいいかもしれません。(20代/男性)

・生涯学習と地域のコミュニティセンターでの活動は大いに関係があると思う。  
より多くの方に生涯学習を享受してもらうには、コミュニティセンターの充実が不可欠と思うが、現状のコミュニティセンターの活動はどうか？県や市町村は、自治という名の下に地域コミュニティセンターの自主性に任せて、丸投げしている状況があると思う。今一度、県や市町村はコミュニティセンターの実態・内実を把握して、優秀な人材投入やセンター職員の人事評価等を導入するなどの手だてを施策としてやってほしい。  
地域の自治力の向上も地域のコミュニティセンターが担っているのだから、コミュニティセンターの充実が大切なことだと考える。地域の自治力が向上しないと、どんな施策を県や市町村が打ち出しても効果は限定的だと思う。(60代/男性)

## ○学んだ成果の活用

---

・常に何か興味をもち学習に繋がっていますが、結果として活かしているかといえば満足はできていません。(30代/女性)

・出版等が今少し低経費で可能なような制度の創設等、生涯学習の成果を発表できる場が欲しいと考えます。(70歳以上/男性)

・人生は常に学習だと感じています。  
独学するにしても書籍など馬鹿になりません。経済的負担を減らしながら生涯学習したい。  
これから労働人口が減少していく中で、一定のスキルを持ったシニア層が活躍できる環境を整えてほしい(公的にも、民間的にも)。(50代/男性)

## ○行政に望む施策・支援

---

・これも上記と同様に教育や街づくりと密接にかかわっていると思います。県として、想定する世界の在りよう、日本の在りよう、その中で県の在りようを踏まえた上で大きく方針を打ち出し、各論を横断的に詰めていくのがいいと思います。(50代/男性)

・地域の歴史や伝統を知る機会が急速に失われていると感じます。不況により、特に若年世代及び子育て世代は日々の生活に窮しているため一朝一夕に生涯学習に手を付けることは難しいと思います。従って長期的に市民の所得が向上する設計を描くことが重要だと考えます。(30代/男性)

・行政における生涯学習は、多くの人にとって良いことを追求すべきです。時代の変化に応じた生涯学習(リスキリングなど)は目まぐるしくかわりうるものなので民間に任せる。行政は、人が人らしくいきいき生きることに必要な文化的側面、民間では収支が取れないような分野に絞って取り組むべき。一部の人に合った尖った政策より、万人にとって永く普遍的な政策をたくさん取り組んで、経済的だけでなく豊かな社会にしてほしい。(40代/男性)

・地域の発展、日本国の発展、地域や日本の伝統や文化、国柄を守ることにつながるような生涯学習の政策を期待いたします。(50代/男性)

・これはあくまで興味がある人が能動的に動かないと何も発生しない活動です。行政から(地域から)の直接的な働きかけがない限り、活動の活性化は難しいと思います。(40代/女性)

・世の中には行政からは知られていない、時間に余裕があり、豊富な経験と技術を持つ人材がたくさんいらっしゃると思います。その様な人材を活用することができれば、多種多様な学習の機会が増え、講師のやり甲斐もできると思います。(60代/男性)

・自治体が補助をしてコンサートや文化事業などを安価で参加できるようにしてほしい。(60代/男性)

・課題は生涯学習に興味がある人と興味がない人の意欲は大きな差があり、興味がない人の生涯学習への参加が少ないことである。そのため、興味がない人を行動できるように、環境の整備(インターネットを活用した学習方法の確立)と参加を促すことが重要だと思う。  
政策としては、生涯学習のために利用するインターネット料金を一部補助する制度があれば良いと感じる。(30代/男性)

・生涯学習に臨む機会が得られないのは家計の面で余裕がない家庭があると思います。必要経費の支援等してくだされば参加する方も増えると思います。(40代/男性)

## ○その他

・問6の設問に近いと思うが、「生涯学習」を行う目的・狙いが人により異なると思います。例えば「マズローの要求5段階」のどの段階を目的・狙いとするかで取り組むモチベーションや内容が異なると思います。欲求の低い順に、「(1)生理的欲求(=睡眠や食事のような生きるために必要な欲求)」、「(2)安全欲求(=健康で経済的な安定を望む)」、「(3)社会的欲求(=良いコミュニティー(集団)や人と繋がりたい)」、「(4)承認欲求(=人に認められたい)」、「(5)自己実現欲求(=自分らしさを求める事)」の段階があります。格差社会と言われるように、日々の生活費が不足している方々は、どうしても「(1)生理的欲求」の確保が最低限必要になるので、学習の目的が収入につながるものを望んでいるケースもありますが、同じ境遇でも価値観により、食事を犠牲にしても「(5)自己実現欲求」を追求したい方もあります。なので、この5段階の欲求(目的・狙い)を達成することに繋がる、それぞれに対応した学習コンテンツを意識することも広く対象のニーズに合うのではないかと思います。(60代/男性)

・少子高齢化による労働力の人口の減少の問題。人生100年の時代の時代の生涯学習に取り組む事は大切な事だと思います。それに、今現在100歳まで生きたいと思わせる何かが、長生きしたいと思わせる社会環境、金銭が必要だと思います。(60代/男性)

・学ぶ目的を明示してあげる必要があるように感じる。なんとなく興味本位で学んでも長続きし辛い。例えば、この知識を得て資格を取ることで、それを活かした地域や組織での活動において、地位や名誉、経済的なインセンティブを得られることに繋がれば(少額でもいいので)、自分の居場所ややりがい、張り合いが出て、学ぶ意欲や参加する意義を見出せる人が多くなるのではないかと。目的と得られるものを明示してあげることが大事と感じている。(40代/女性)

・生涯学習することによって認知症になるリスクや健康的な生活水準を高めることが期待できると感じます。声を掛け合って楽しく参加できることが何より重要だと思います。(60代/女性)

・現代社会は時代の変化が急激で、3年前に通用したことが通用しないと言ってもいいくらいの社会変化が起きているように思います。そのような社会変化が起きていることを住民に啓発するとともに、そのような社会変化に対応するためにどのようなスキルが必要かを行政・住民全体で確認していくような取り組みが必要であると考えます。(40代/男性)

・生涯学習と聞くと勉強なんてしたくない、ゆっくりしたいと思う人もいるかもしれません。生涯学習は自分に合ったものを見つければ楽しく、人生を豊かにしてくれるものだと思うように、生涯学習の良さをもっとアピールする必要があると思います。多分、健康と長寿に効果があると思いますし、実際に生涯学習をして健康で豊かな人生を送られている方の経験談を知りたいです。(50代/男性)

・子どものころから、共助の意義や必要性の教育が必要だと思います。そのためには、学校教育以外の社会教育が必要です。(50代/男性)



## 「学び」の情報発信

生涯学習情報提供サイト「ふくおか生涯学習ひろば」で次の情報を発信しています。

- 県内の大学や県の施設等が実施している学習情報
- 様々な機関・団体のホームページとリンクして、リカレント教育（学び直し）やスキルアップ、大学の公開講座、ボランティア活動につながる情報を発信

ふくおか生涯学習ひろば

ふくおか 生涯学習

URL <https://www.gakushu.pref.fukuoka.lg.jp/>

学びでつながる みんなの未来  
ふくおか生涯学習ひろば  
福岡県生涯学習情報提供サイト

初めて利用される方へ

情報発信!

学習情報の発信(登録・更新)はこちらから

音声読み上げ

文字サイズ 小 標準 大

サイト内検索

検索

HOME 学ぶ 活かす 活動レポート お役立ち情報 お知らせ

### お知らせ NEWS

一覧はこちら >

NEW

生涯学習マスコット「マスコ」

最新!!  
学びの  
新着情報

2023年12月11日

福岡県内市町村の生涯学習推進体制等に関する情報を掲載しました。

2023年11月29日

【福岡県立社会教育総合センター】子育てWEB講座「乳幼児期編」（ふくおか子育てパーク）

2023年11月15日

【西日本短期大学】2024年度（4月入学生）社会人選抜「申込」受付中！

2023年10月23日

11月は「生涯学習月間」です！県内で開催される令和5年度生涯学習月間行事のご案内～

● ○ ○ ○ ○

学ぶ LEARN

学びをさがす SEARCH

最新！学びの新着情報

紹介コーナー（活動・講座）

開催日：2024年11月11日～3月21日  
【ももち文化センター】ももちシニア演劇部

開催日：2024年1月14日  
【雨市民センター】学生演劇ワークショップ

開催日：2024年2月2日  
【福岡市NPO・ボランティア交流センター あすみん】NPOのための税理士による会計・税務個別相談

開催日：2022年9月24日～2023年3月4日  
【履修証明プログラム】授業でのGoogle Workspaceの活用 初級編 [オンライン講座]

開催日：2023年12月16日～2024年1月20日  
【北九州市立大学】リカレント教育「i-Designコミュニティカレッジ」オンライン相談会・説明会開催（2024年度履修生募集について）

開催日：2024年2月22日  
【福岡女学院大学】特別講座「ゼロから始めるDX基礎講座〈無料〉」【対面講座】

開催日：2024年1月24日  
【ハローワーク福岡中央】介護のしごと知ってみませんか？

開催日：2022年4月1日～2021年3月31日  
学習支援ボランティア（福岡県学習支援ボランティア人材バンク）

もっと見る >